

「未来高岡」ステップアップトーク（東五位地区）会議記録 ＜要旨＞

1、日 時 平成 28 年 8 月 27 日（土） 午後 7 時 30 分から 8 時 30 分

2、場 所 東五位公民館

3、出席者 市民 56 名（うち女性 13 名）

高岡市 市長、経営企画部次長、広報統計課長

4、会議次第

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

.....

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

参加者

- ・瑞龍寺の近くに石灯籠があるが、高岡は銅器のまちなので、石製のものではなく銅製の
ものでPRしたらいいと思う。

市長

- ・瑞龍寺から前田墓所へと続く八丁道に金属製の灯籠があることから、石灯籠とあわせ一
つの物語となるよう、高岡の歴史や文化をいかしたまちづくりをしていきたい。

参加者

- ・平成の御車山の制作には、原型や鋳物など他市の関係者が関わっていると聞いているが、
もっと高岡市の関係者が関わってほしい。

市長

- ・平成の御車山には、様々な方々が関わっているが、高岡でできることは高岡で行いたい
と思っている。この取り組みは、現在の名工の技術の粋を集めて御車山を制作したらど
のようなものができるかという試みであり、大変意欲的な取り組みであると捉えている。
今年の秋には高岡御車山祭りがユネスコ無形文化遺産登録に向け審査される予定であり、
平成の御車山についても、市民の力を結集した山車として今後の活用方法を考えていき
たい。

参加者

- ・市民体育館は古城公園の外に設置すべきではないか。今後のあり方について十分検討し
てほしい。

市長

- ・現在の市民体育館は老朽化していることから、古城公園以外の場所での建て直しを考えており、世界大会もできるような施設にしたいと思っている。市内には市民体育館と竹平記念体育館という 2 つの大きな体育館があるが、その 2 つの体育館を併せたような施設規模を想定している。施設内にはメインアリーナとサブアリーナを設置し、大きな大会で使用するだけでなく、日常的にも気軽に利用できるものにしたい。
- ・古城公園は、国指定史跡であり、建築当時の濠や土塁、石垣等が今も残っている。市民体育館の移転後の跡地の利活用については、史跡としての価値を維持できるよう今後のあり方を調査しながら計画づくりを進めているところである。

参加者

- ・東五位地区のうちいくつかの自治会で、道の駅周辺の活性化に取り組んできたが、今回、市街化区域¹には編入されないこととなった。一方で、それ以外の周辺の自治会の区域が市街化区域に編入されることとなったことから、その経緯と、今後道の駅周辺が市街化区域に編入される可能性を教えてほしい。東五位地区の核となるのは道の駅周辺と考えており、そこを中心に市街化区域に編入していくべきではないか。

市長

- ・高速交通網の整備等により環境が変化していることから、市街化区域及び市街化調整区域²の見直しは概ね 10 年ごとに行っている。その他、開発を強く希望される場合は個別に審査することとしている。今回の市街化区域の編入については、富山・射水・高岡にわたる広域的な都市計画区域の中での見直しであったが、人口減少が見込まれる中、どの地区を開発できる地区に組み入れていくかは様々な議論があった。また、国等では食糧自給のため農地を守るという観点から、市街化区域の編入には厳しい姿勢がとられており、その中でいろいろな可能性を考慮しながら現在の結果に至ったものである。今回市街化区域に編入されなかった地区についても、今後変更されないというわけではなく、いろいろな条件を整理しながら議論していく必要がある。

¹ 既に市街地を形成している区域及び概ね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。

² 市街化を抑制すべき区域。